

(様式2)

令和4年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
3	川崎市立川崎総合科学高等学校定時制	荒井 利之

学校教育目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・真理を探究し、高邁な人格の育成に努める ・教養を高め、豊かな創造力と健全な批判力の育成に努める ・工業・商業の知識と技術を習得し、勤労を愛する精神の育成に努める ・良心を鍛錬し、明朗にして良識ある社会人の育成に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能的な組織の運営・教職員の資質向上 ・生徒指導の充実・主体的活動の促進・基礎学力と専門教科の充実・資格取得の推進 ・学校施設の計画的整備・支援教育の推進

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 機能的な組織の運営	校内分掌・各種委員会等の組織の活性化	業務の効率化・平準化を図るため、各種委員会の編成等について再検討を実施。	各種委員会の編成、配当人数、業務内容等についてアンケートを取り、次年度に向けて編成案を作成した。次年度の実績を踏まえ、更に改善を図る。
2 教職員の資質向上	教員の研修体制の確立と実践	計画的な学校内外での研修を通して、教職の専門的な知識・技能の向上に取り組んでいる。	休業期間を利用し、研修に参加し、教員の資質向上に取り組むとともに、専門的知識・技能を深める校内研修を積極的に取り入れていきたい。
3 生徒指導の充実	基本的生活習慣の確立	生徒への継続的な声かけや見回りを実施し、落ち着いた学校生活を送れる環境を整え、全体集会等を通じてルール等の周知徹底を行っている。	今後も職員が連携をとりながら生徒指導に取り組む。生徒に対しても継続的な声かけを通して、学校全体における基本的生活習慣を育てる。
4 主体的活動の促進	HR活動・生徒活動・部活動の充実	新入生歓迎会や弁論大会、社会見学、部活動等の運営に生徒のアイデアを積極的に取り入れ、生徒の主体的な取り組みを充実させた。	引き続き、生徒のアイデアを取り入れながら、主体的活動を進めていく。特に学年を越えた生徒会活動や部活動の活性化をさらに推進する。
5 基礎学力と専門教科の充実	基礎・基本を大切にした学習指導の充実	1年生の教育課程に、基礎学力の充実を目的とする学校設定科目を設定し、複数の教員によるきめ細かな指導にあたった。	今年度の反省と入学する生徒の状況を踏まえて改善を行い、より充実した基礎学力の定着を図る。また引き続き課外での支援を行う。
6 資格取得の推進	各種技能検定や資格取得の支援と学習意欲を育てる	電気工事士や情報技術検定、計算技術検定等の講習会を継続的に実施し、支援を行っている。生徒も積極的に受検し、合格者を出している。	引き続き、キャリア教育の一環として、資格検定対策講習会を放課後や週休日にも積極的に展開し、生徒の資格取得に対する意欲を育てる。
7 学校施設の計画的整備	校舎破損箇所修繕と安全管理	整備計画に基づき、今年度はトイレ、エレベータ等の修繕が行われた。照明や災害対策設備に関する改善も次年度以降に予定している。	今後も安心・安全に学校生活を送れるよう施設整備及び管理を行う。
8 支援教育の推進	個を大切にした指導の充実	職員会議や学年会において支援を必要とする生徒の情報交換を行い、職員間の理解を深めている。SSWや地域支援課との連携による対応を行った。	継続して学校巡回カウンセラーや地域支援課、SSWの協力のもと関係機関との連携を図りながら、支援の必要な生徒に対応していく。

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ・次年度へ向け
学校の周りの町内会は浸水ハザードマップで危険想定地域に指定されている。災害時には近隣の避難所になっている学校なので自主防災倉庫もおかせてもらっている。避難所開設訓練なども行っている。今後も地域と学校が連携し、安全な街づくりご協力願いたい。(町内会代表)	<p>キャリア教育の充実や様々な工業・商業系資格の取得推進により、専門の特色を活かす教育活動を展開することができた。今後も基礎学力の充実と望ましい職業観・勤労観の形成に努め、社会に貢献できる人材の育成に努めたい。</p> <p>生徒の授業に臨む態度は大変落ち着きがあり、また放課後や休日の補習等を積極的に取り組む生徒も多い。行事や部活動においても主体的に取り組み、部活動では優秀な成績を残している。</p> <p>今年度から取り組み始めている基礎学力定着のための学校設定科目や生徒自立支援事業(カフェ)、ドローンを利用した教育活動等についても、適切に検証し、改善を図っていきたい。</p>